

社会の諸相を教材とした実践的就業力育成

本学の「社会の諸相を教材とした実践的就業力育成」が平成 22 年度「大学生の就業力育成支援事業」に採択されました。

全国の国公立大学等から 441 件の申請があり、180 件が採択されました。

文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」は、各大学・短期大学における、産業界等との連携による実学的専門教育を含む、学生の卒業後の社会的・職業的自立に向けた新たな取組を国として支援するものです。また、雇用の基盤作りとして、大学等におけるキャリアアカウンセラーの増員等による相談支援の強化、産業界との連携による課題解決型の授業など、就業力を向上させるための支援プログラムの充実の具体化として、「新成長戦略実現に向けた 3 段構えの経済対策」が閣議決定されたことにより、当初予定されていた選定件数（130 件程度）を上回る 180 件が選定されました。

平成 22 年度「大学生の就業力育成支援事業」

社会の諸相を教材とした実践的就業力育成
<p>産学連携による就業力育成科目とその教育体制の整備・強化を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門科目の動機付け・理解度向上、および人間力育成科目である本学独自の工学リベラルアーツ教育科目を、就業力育成の効果が上がるよう PDCA 化して改善する。 ● 産業界での人材育成教育のノウハウを導入し、コミュニケーションスキル育成教育を開発実施 ● 知財、企業論、ビジネスモデル等の実学的専門教育の全学的な展開 <p>進路を自ら選べる力を育成するキャリア教育科目の整備・強化を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● キャリアデザイン構築能力を育成する科目の全学的な展開 <p>学生目標達成支援システムの構築とキャリア面談を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学修アウトカムズデータとキャリアデータを統合した新システムを構築し、学生と教職員が情報を共有しながらキャリア面談を毎年学生全員に実施する。